

エンジンのCSRをまとめた書籍を出版



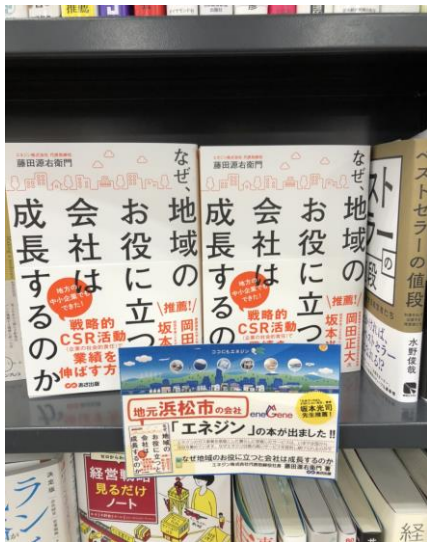
CSRのノウハウ一冊に

エネジン(松浜)藤田社長、著書発行

エネジン(浜松市中区)の藤田源右衛門社長(50)が、企業の社会的責任(CSR)についてまとめた著書「なぜ、地域のお役に立つと会社は成長するのか」を、あさ出版(東京)からこのほど発行した。

エネジンは県内でLPGガス販売などを手掛

著書の中でCSR活動について紹介したエネジンの藤田源右衛門社長
＝浜松市中区



「エネルギー教室や中学生の部活動支援、防犯パトロールなどのCSR活動を積極的に展開している。」

大企業に比べて費用や人員が限られるため、藤田社長は「地域の困り事を異業種と協力し合って解決し、光

明を見いだしている」と説明。結果的に、会社のPR効果にもつながり、顧客数の純増を堅持しているという。

同書では具体的な活動内容と、課題解決や広報の効果的な方法を紹介している。216ページ。税別1500円。

タイトル「なぜ、地域のお役に立つと会社は成長するのか」

地域の皆様と一緒に汗を流してきた当社のCSR活動についてまとめた書籍がこの度、出版されました。

当社が試行錯誤し、見えてきたもの…

「地域のお困りごとを、異業種とアライアンスを組んで(協力し合って)解決すること」日ごろから、ご協力いただいている企業・団体様には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。地域の皆様から必要とされる企業であるため、今後も全力を尽くしていきます！

令和2年(2020年)3月10日(火)

静岡新聞掲載